

凡 「●」…二次・三次ワーキンググループ設置済
例 「★」…クラスター・プラン策定

仁淀川地域本部 地域産業クラスターの進捗状況等

農業② 日高村トマト産地拡大プロジェクト（日高村） ●★

- 【H29の主な取組】** ※プラン策定 (H29.1)
 1次：トマト生産用地面8.3ha→8.75ha
 イチネン農園H29実績 83t/50a
 (目標比99%)
 2次：加工施設建設に関する打合せ（わのわ会、日高村、JAコスモス）、村の駅「ひだか」運営協議
 3次：専門家を招致して、日高まるごとイタリアンプロジェクト全体構想に関する協議を実施
 オムライス街道実績H29:82,905食
 (前年比119%)

【H30年度上半期の取組状況と課題】

参入企業の次世代型ハウス(50a)の栽培開始への支援、新品目（ミニトマト）の地元加工・販売検討

▼取組状況

- 1次：イチネン農園の生産拡大(1.6ha、8月完成)
 JAトマト部会販売(H29.4~3)
 430百万円
 2次：日高わのわ会による新商品の開発（シャーベットを「とまとすたんど」にて8月販売開始）
 ミニトマトの加工品の試作（イチネン農園がOEM生産検討）
 3次：オムライスをテーマに絵本コンクールを開催、238点の応募があり最優秀作品を7月に発売、PR。オムライス販売数（H30.4~5月）11,905食
 (前年比94%)

▼課題

- ・新規就農者の確保、イチネン農園ハウスでの経営安定
- ・日高まるごとイタリアンプロジェクトの全体構想の作成

【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：研修生の確保、農業担い手確保・育成方策の策定
 2次：JA規格外品トマトの加工施設の検討、わのわ会トマトソース製造工程
 3次：日高まるごとイタリアンプロジェクト推進のための具体的な戦略策定

農業⑥ いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト（いの町） ●★

- 【H29の主な取組】** ※プラン策定 (H29.1)
 1次：生姜の生産拡大
 1,921a→2,012a(H29)、JA集出荷場の高度化・拡大
 (H29.10完成予定)
 2次：生姜パウダー、ガリ、生姜酢、ドリンク等加工品の生産強化と新商品の開発検討開始
 3次：いの生姜焼き街道等の取り組みにより地元飲食店との連携強化で観光面への波及効果アップを推進
 H29参加店舗：19店舗

【H30年度上半期の取組状況と課題】

生姜の生産基盤の強化と生姜のまちいの町のPR強化

▼取組状況

- 1次：生姜生産拡大2,012a、産地提案書を作成（2名が研修開始）
 2次：伊野地区生活改善グループによるイベントでの生姜PRの方法検討
 3次：かみのひな祭りの中で実施予定の「生姜祭」での取組内容（生姜の歴史紹介、地産品の展示PR等）の検討

▼課題

- ・干ばつ期に対応できる灌水設備の導入、研修生の栽培技術等の習得
- ・開発・試作段階の加工品の早期商品化、町内での商品提供・販売の強化
- ・生姜焼き街道参加店舗の拡大、加工品製造者等との連携強化

【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：栽培管理等の指導及び候補地選定の推進。研修生に対する定期的な勉強会の開催
 2次・3次：WG活動の活性化、いの生姜焼き街道のさらなる取組強化（11/1生姜焼き街道のスタンブラー開始に伴う事前PRとして、参加店舗の出店イベントをいの町センター前で開催予定）

林業③ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター（佐川町） ●

- 【H29の主な取組】** ※プラン策定 (H29.1)
 1次：地域おこし協力隊（自伐）の採用（4人）、町民・協力隊向け自伐型林業研修会の実施、山林の集約化（約112ha）
 2次：地域おこし協力隊（ものづくり関連）の採用（3人）、ものづくりの拠点「さかわ発明ラボ」移転正式オープン、オープラボや放課後発明クラブの開催、商品開発・販売等
 3次：道の駅検討委員会の開催

【H30年度上半期の取組状況と課題】

森林長期施業管理契約締結の推進、地域おこし協力隊の採用・育成と自立化による自伐型林業のビジネスモデルづくり、地域おこし協力隊（ものづくり関連）の採用、学校教育、集落活動センター等との連携

▼取組状況

- 1次：地域おこし協力隊の採用（2名）
 ・地域おこし協力隊等で構成する任意団体への町事業委託
 2次・3次：地域おこし協力隊（ものづくり関連）の採用（4名）
 ・学校教育、集落活動センター等と連携し、町産材を活用したWS等を開催

▼課題

- ・山林の集約化
- ・自伐型林業のビジネスモデルの構築

【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：森林長期施業管理契約締結による集約化の推進
 ・地域おこし協力隊の自立化に向けた協議
 2次・3次：さかわ発明ラボの運営体制構築の検討

水産業③ 宇佐・浦ノ内水産資源活用クラスタープロジェクト（宇佐市、須崎市）

- 【H29の主な取組】**
 1次：アサリ垂下式養殖の採算性検討を開始
 潮干狩り復活に向け大規模被せ網を実施
 2次：浦ノ内住民自主組織が観光客向け弁当を試作
 3次：浦ノ内釣りいかだ渡船振興会が釣りいかだ利用拡大に向けて小中学校への営業や須崎市観光協会との協議を実施
 3次：道の駅検討委員会の開催

【H30年度上半期の取組状況と課題】

市町村によるクラスター・プラン策定を支援

▼取組状況

- 全体会：農山漁村振興交付金の承認
 1次：アサリ資源の回復に向けたモニタリング、被せ網、間引き等を実施
 ・アサリ垂下式養殖の採算性検証試験を実施
 ・潮干狩りの再開に向けて天皇州の一部の試験開放を予定
 2次：高知海洋高校が地元水産物の消費拡大を目的としたウルメイワシの加工品開発や試食会を実施
 3次：浦ノ内湾釣りいかだ渡船振興会が須崎市観光協会と連携した教育旅行の受け入れを実施

▼課題

- ・土佐市及び須崎市の連携強化
- ・漁港事業の円滑かつ効果的な実施

【H30年度の今後の取組予定】

- 全体会：土佐市プラン案の推進、須崎市プラン案の選定
 1次：潮干狩り、垂下式養殖の採算性等の検討
 2次：ウルメイワシ加工品の観光商材としての活用の検討
 アサリの食害種（アカエイ等）の加工品の開発
 3次：漁港事業を活用した観光事業のプラッシュアップ

食品加工② 株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター（仁淀川町） ●★

- 【H29の主な取組】** ※プラン策定 (H29.2)
 1次：自社原料生産体制（営農・法人化等）を検討
 2次：新工場の整備（3月完成）
 ・新工場整備にかかる関係者協議の開催（毎月）
 ・新たな野菜加工品づくりに向けた製造用機器の整備
 3次：「おでん」のブランド化による入込観光客の増とあわせ、自社製造のおでんパック開発等を推進

【H30年度上半期の取組状況と課題】

野菜の産地形成に向けた自社による原料生産の仕組みづくりの推進、ネギ育苗の試験栽培実施の検討、担い手の確保への着手

▼取組状況

- 1次：産地形成に向けた仕組みづくりを検討
 ・ハウスを活用したネギの育苗を検討
 ・新規就農者も含めた担い手の確保に向けた取り組みへの着手
 2次：県内外の量販店への販路拡大
 ・量販店との取引拡大（カットネギ）
 :野菜の残さを活用したドレッシングの商品化
 3次：町内イベントでの「おでん」の提供

▼課題

- ・原材料となる野菜の産地形成の促進
- ・開発中であるドレッシングの販路開拓
- ・「おでん」の販売、地域の誘客へと繋げる仕組みづくり

【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：運営部会での原料生産・担い手確保の仕組みづくり
 2次：ドレッシングの販路開拓に向けた商談会への出展等
 3次：「おでん」P Rによる観光振興の仕組みづくりの検討

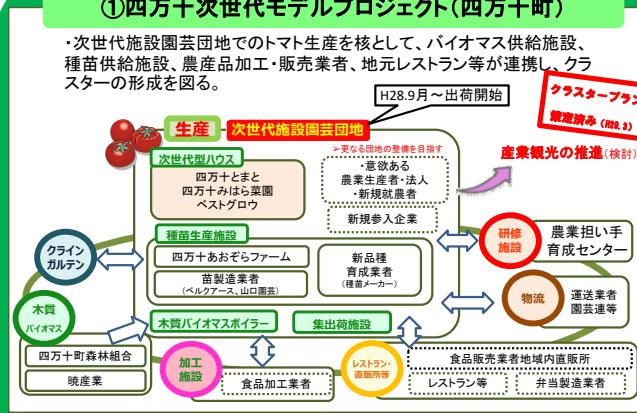
(注)図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

地域産業クラスターの形成（展開図）①

【農業】

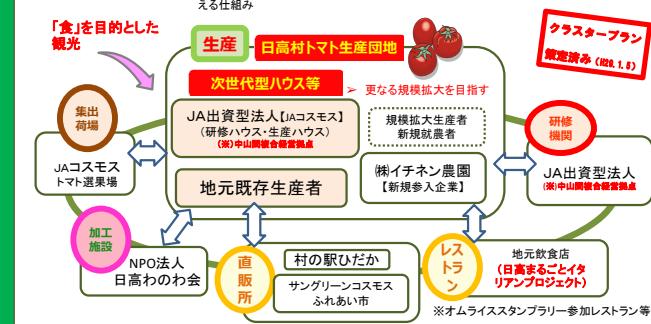
①四万十次世代モデルプロジェクト(四万十町)

・次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



②日高村トマト産地拡大プロジェクト(日高村)

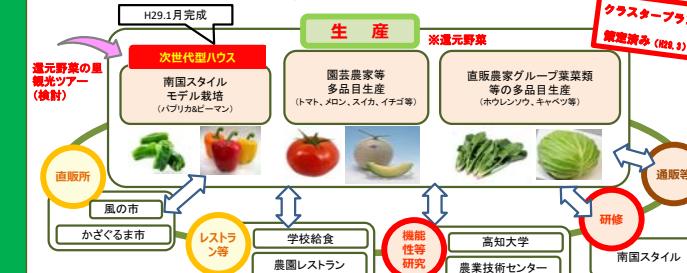
・日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点(※)の整備とも併せて、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



③南国市還元野菜プロジェクト(南国市)

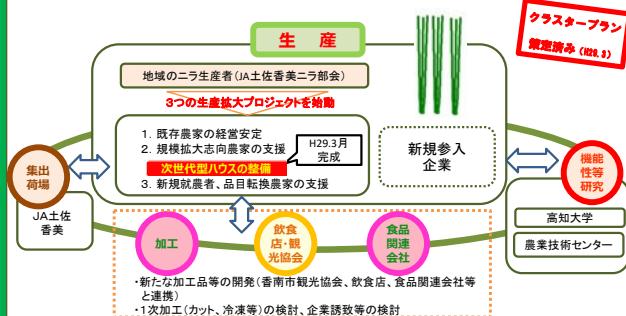
・JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜(※)」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。

(※)電解水素水を使って栽培した野菜のこと。電解水素水は、葉菜類で生育促進効果(収量5~20%UP)があり、さらに葉菜類、果菜類等で抗酸化機能等の機能性成分向上効果を確認



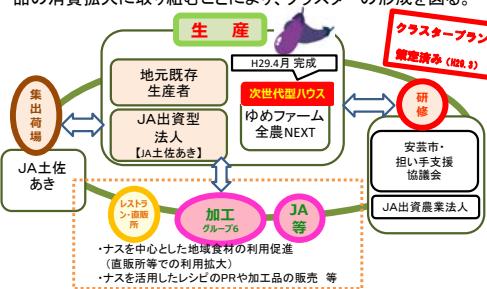
④日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市・香美市)

・日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトを取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れての新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。



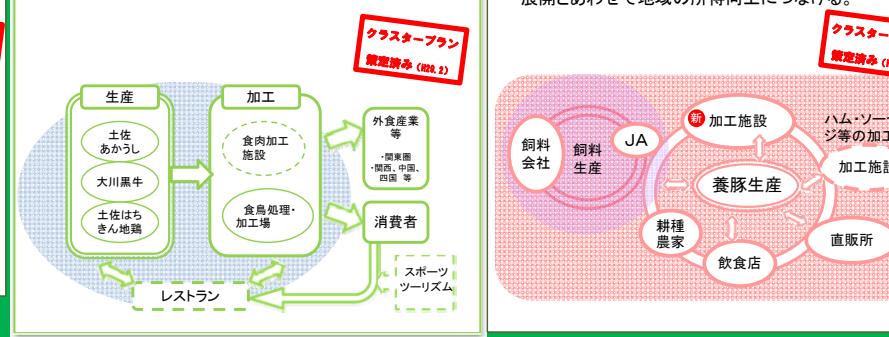
⑤日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

・県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。



⑥嶺北畜産クラスターによる地域の活性化(嶺北地域全域)

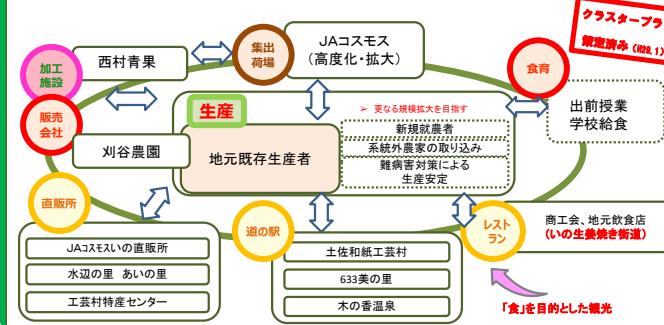
・「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



⑦四万十パークブランド推進プロジェクト(四万十町)

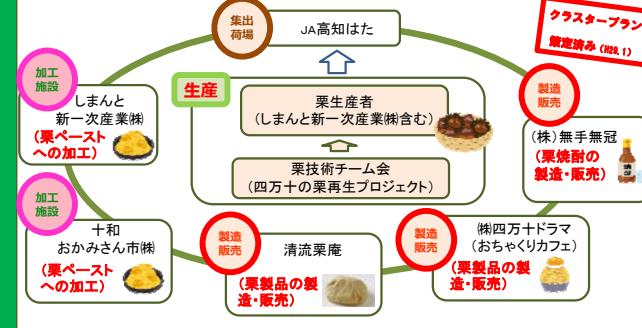
⑧いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト(いの町)

・いの町の生姜生産農家を中心として、生姜の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



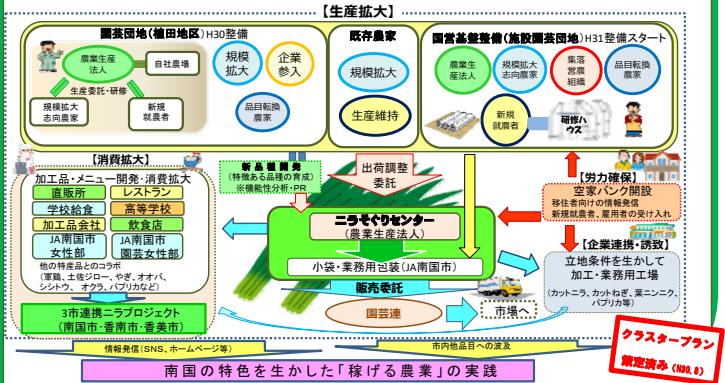
農業⑨四万十の栗プロジェクト(四万十町)

・四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。



農業⑩日本一のニラ産地拡大プロジェクト(南国市)

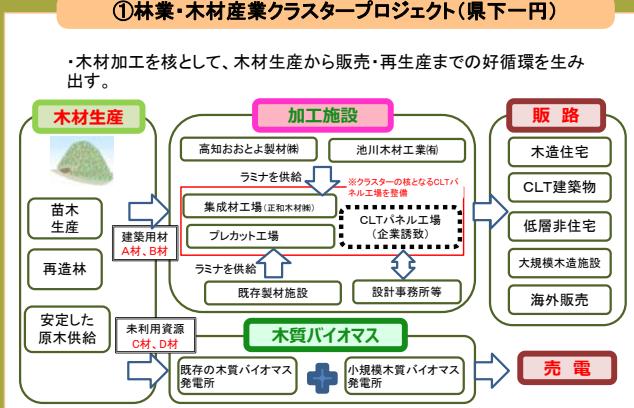
・農業生産法人が運営するそぐりセンターを活用し、地元農家や企業参入による生産拡大を図るとともに、直販所、レストラン、商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



(注)図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

地域産業クラスターの形成（展開図）②

【林業】



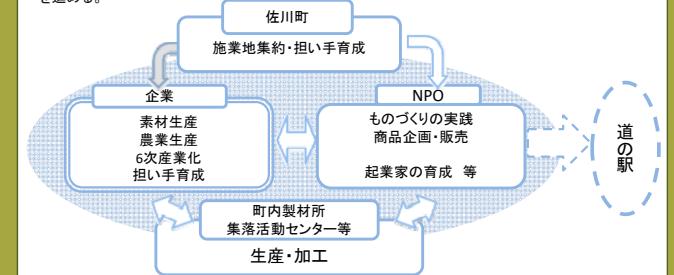
②嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域全域)

・嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。

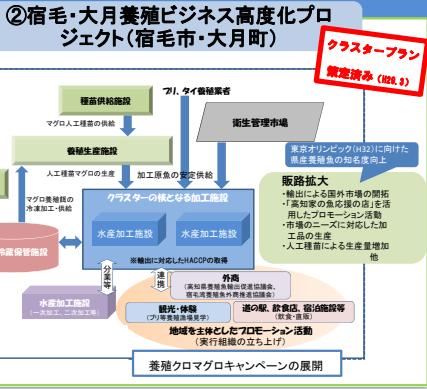
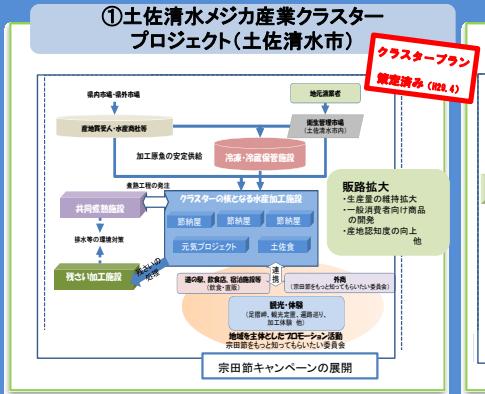


③佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

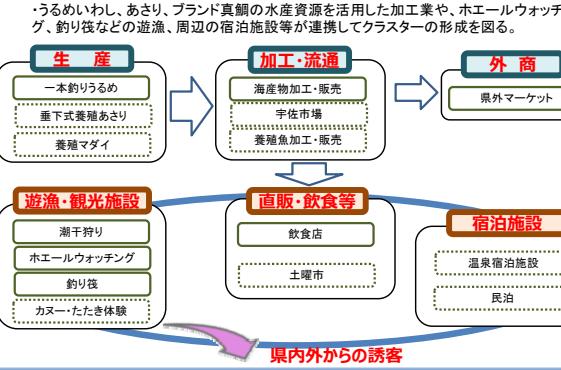
・自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。



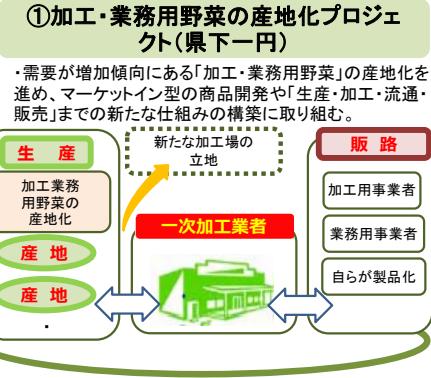
【水産】



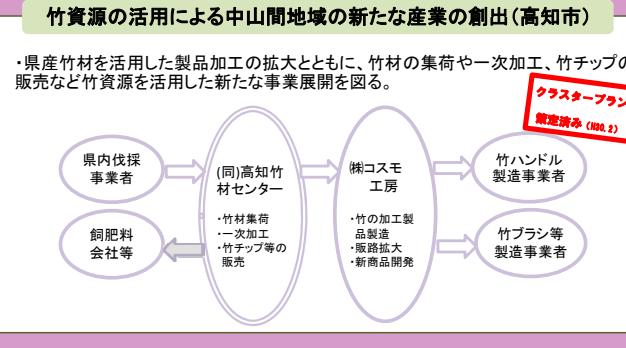
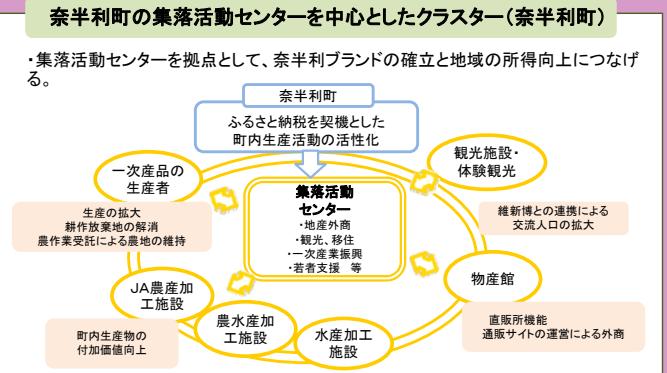
③宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト (土佐市・須崎市)



【食品加工】



【その他】



株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

・新工場整備によって生産能力を向上させ、県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大を図る。あわせて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。

